

野党連合で新しい政治を

2020年におもう

平岡町後援会会長

木戸 久裕



あけましておめでとうございます。

共産党は綱領改定で「市民社会が、国際政治の大きな役割を果たしている」と指摘しています。アフガニスタン中村医師のペシャワール会がそうです。治水対策が平和への希望でした。安全に軍隊は不要。助け合いが必要です。

「平和憲法を守る」、共産党も入って市民と野党の協働が実現しつつあります。

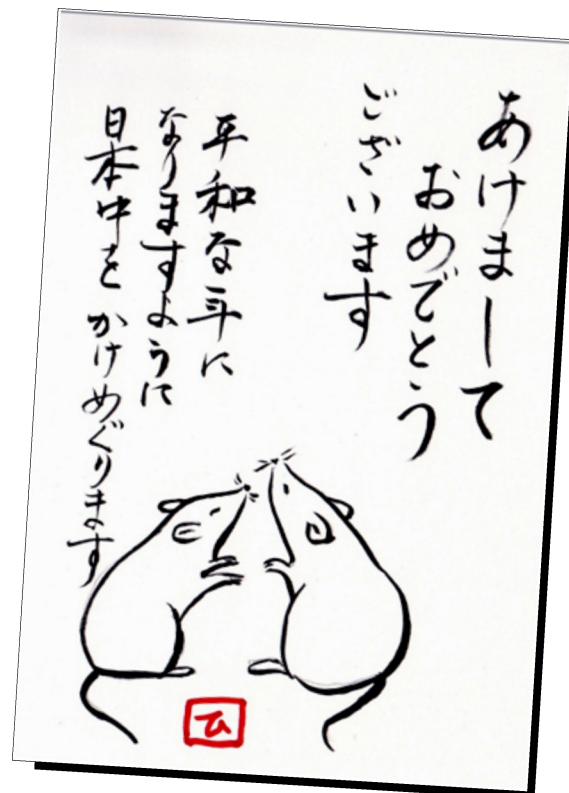
私たちの声が届く市議会へ

日本共産党加古川市議員 立花 俊治



謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素から、市議会活動へのご支援を賜り、心から感謝申し上げます。市議3年目になりますが、一番心痛めるのは私たち市民の声が届かないことです。まっすぐに市民の声を届け、市民の声を活かされる市議会となるよう決意を新たにしています。

今年は通常国会冒頭解散の可能性があり、強く大きな日本共産党をめざします。また、安倍政権の退陣を市民と野党の共闘で一緒に実現する希望ある年にしましょう。



「桜を見る会」私物化に安倍政権への批判が強まっています。

共同の世論調査では、この疑惑への首相の「説明不十分」が8割を超えました。

招待者1万5千人のうち、過半数が首相ら政権中枢と自民党関係者です。

飲食物は無料で提供され、お土産まで配られる、税金を使った公職選挙法違反の「買収」と言われても当然です。



喜んで「桜」がみられる年に

金を使った公職選挙法違反の「買収」と言われても当然です。

責任が安倍首相にあることは疑いありません。

今回の問題では、野党が共にして「追及本部」をつくり、疑惑の調査も含めた取り組みが始まっています。今、国会では野党共闘が進

さらに、悪徳マルチ商法の「ジャパンライフ」元会長が、首相枠で招待されていました。同社の元店長は、この招待状を見せることで信用を高め、顧客を勧誘していたことを証言、被害拡大に加担した社会



み、来るべき総選挙に向け話し合いが進展しています。

今度こそ「逃げ切り」を許さず、真相の徹底究明を行い、私物化内閣に総辞職を突き付け、安倍政権にかわる希望ある新しい政治を市民と野党の共闘で切り開いていきたいものです。

「指定ごみ袋制度」導入を強行

18日の本会議で、日本共産党以外の会派の賛成多数で「指定ごみ袋制度」導入を強行しました。2021年6月施行で、指定ごみ袋以外は収集されません。指定ごみ袋は、大・中・小の6種類の予定で、市販されているものより高いごみ袋を買わなくてはなりません。

議会に先立ち、新日本婦人の会加古川支部から「指定ごみ袋制度の中止を求める」要望書を、2029人の署名とともに提出していました。

日本共産党議員団は、

①「ごみ袋を買う市民にとってたとえ2円高くなっても、市

市民の声を無視

12月議会

- ① 民全体では1年で2240万円の新たな負担になる。
- ② 新たにごみ袋を作ること環境問題になっているプラごみ減量に逆行する。
- ③ パブリックコメントで示された多くの反対の声をなぜ無視するのか。
- ④ プラごみの分別をさらに進める、そしてごみを発生させない施策を市が進めることなどの意見・提案し、条例に反対しました。

家庭系のごみ処理は地方自治体の役割として位置付けられています。市民の納得と協力を得る努力をしない市長の姿勢が問われます。

戦争させない
9条壊すな！

4年前の9月19日に強行採決された戦争法の廃案をめざし、毎月19日に続けてきた駅前集会、50回を超えました。12月19日、今年最後の総がかり行動が行われました。



加古川駅前広場で総がかり行動＝12/19